

# 同窓会通信

2011号

新会長あいさつ



同窓会会長  
道田 聡

## 同窓会50周年に向けて

拝啓

同窓会会員の皆様におかれましては、益々のご清福にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃より当会の運営・活動に何かとご指導・ご鞭撻を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

このたび、同窓会総会にて同窓会長にご承認頂きました9期卒業の道田聡でございます。大変な重責に身が締まる想いでございます。微力ですが新しい役員の方々と一緒になって同窓会の発展に寄与してまいりたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

平成23年1月8日には、多くの皆様方の御協力にて、当会設立45周年記念総会、懇親会を盛大に開催することが出来ましたこと、重ねて心より御礼申し上げます。

今後は同窓会設立50周年に向けて、新役員の皆様と一丸となって、素晴らしい50周年記念総会、懇親会を開催できるよう努力してまいります。50周年という大きな節目の大会にと同窓会役員も担当別に組織し、たくさんの同窓生の参加を呼びかけるように心掛けてまいります。又、その間には母校の50周年もやっておりますので同窓会として母校の発展の一助になればと思いをめぐらせ計画しております。

振り返りますと、3年前母校は、広島なぎさ中学校・高等学校へと校名を変更し、さらに新しい校舎が出来ました。また、新しい教育目標に「なぎさスタンダード」と呼ばれているプログラムを実行して多くの優秀な卒業生を輩出しています。現在では一万人以上の同窓会会員が大学、社会にて活躍されています。

さて、このたび東日本大震災で多くの方が被災され心よりお悔やみを申し上げますと共に、同窓会でも震災義援金を役員会にて決定し中国新聞社事業団に持参しました。

惜しくも私にとって会長としての初めての仕事でしたが、家族や友達を思いやる気持ちは一つとなってこの大災害から立ち直らねばなりません。「人を思う」このことが正に学園の建学の精神「教育は愛なり」「常に神とともに歩み社会に奉仕する」ではないでしょうか。会員の皆様の一人一人の思いを我、母校に寄せてください。

今後の同窓会50周年に向けてご理解・ご協力を心からお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

敬具

新校長あいさつ



校長  
角島 誠

## 誇りある母校としてあり続けるために

拝啓

同窓会の皆さま、こんにちは。この度、校長となりました角島でございます。若輩者でございますが、よろしく願い申し上げます。

多くの歴代校長が公立高校または工大高校から来られた校長先生であったのに対し、私の場合は、生抜きではありませんが理科(物理)の非常勤採用から始まって本校での教員経験を経た校長ということになります。そういう意味で、現場が抱える強みも弱みも踏まえた舵取りができればと思います。とはいえ、学校通信NEWSの新年挨拶でも述べましたが、校長が変わっても本校の教育作りの姿勢は何ら変わることはありません。脈々と受け継がれてきたこの伝統を私もただひたすら継承してだけです。

ご存知のように昨今の学校現場では、公立高校も含めて学校経営とか生き残りとか生徒確保とか、そのための特色作りとか、そしてそのためににわかにかたかな用語や数値化の嵐が吹き荒れています。私も立場上、そういった知見を踏まえることもあります。学校教育はもっと純粋で単純であるべきだと思っています。

我々の教育作りはとてもシンプルです。生徒が生きていく将来の世の中の動向と、今の生徒の現状を見定め、そこが交差するところに必要なことを、ただやっているだけです。そして、そこで必要な教材やプログラムは、自ずと自前の手作りになっていきます。

例えるなら、母の手作り弁当と同じ感覚での「手作りの教育」。これが建学の精神「教育は愛なり」の具体的な示し方の一つと理解しています。手づくりのものは、オリジナルであり、それは他と比べれば自ずと特別なものとなっています。本校には特色あるプログラムがたくさんあると評されますが、それはあくまで結果です。

新校舎に移転して3年が経ち、中で働いているものとしては以前からずっとここにあったかのように思うほど馴染んでしまいましたが、多くの同窓生の皆さまにとっては、まだまだ違和感のある状況だと存じます。ここが違和感なく母校であると思っただけのよう、そして、巣立つ後輩たちが同窓会の皆さまにとって誇りに思えるようであり続けたいと思い、日々取り組んでいます。

そのために、同窓会の皆さまより、外から見られての本校に対する率直なお声を頂戴できますれば、一層の飛躍に資するものと考えております。

敬具

# 広島なぎさ中学校・高等学校NEWS

## 進学フォーラム



22年9月4日、進学フォーラムが実施されました。卒業生3名が、高校時代の学習法や受験への心構え、大学の素晴らしさを語ってくれました。中学3年生からに耳を傾け、積極的に質問をしていました。

左から ●竹本 真士君【県立広島大学経営情報学部経営学科3年】

「苦手科目は可能性の塊! やればできる!」

●沖増 朋樹君【早稲田大学教育学部数学科1年】

「受験で人生変えられます! 自分のために頑張ってください。」

●栗林 祐樹君【広島大学教育学部第3類英語文化系コース1年】

「部活や受験、後悔しないように全力で打ち込もう!」

## 高I夜間歩行



### 広島県尾道市生口島～愛媛県今治市の43.4km

日程／平成22年10月8日(金)・9日(土)

今年は降りしきる雨の中、レインコートを着用しての夜間歩行。8日の午後、翌朝のゴールを目指して出発。あれだけ楽しみにしていた美しい夕日も、満点の星空も、真っ赤に燃える朝日も、すべて雲に覆われてしまい見ることができないということで、ひどく落胆していましたが、そのような過酷な状況の中でも、「絶対に全員で歩ききりたい」という想いをもち、互いに励まし助け合って歩いていました。過酷な状況での歩行だからこそ、お互いを結ぶ「絆」の強さ、仲間の大切さやありがたさを実感したようです。この夜間歩行は、今後の人生の大きな糧となることでしょう。

## 全国大会出場スポーツNEWS



軟式野球部



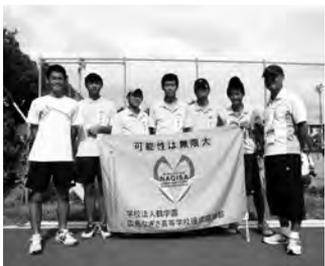
### 第55回全国高等学校軟式野球選手権大会

広島県予選で県立広島高校、広島学院高校を退け、広島県代表として臨んだ西中国大会はビジコム柳井スタジアムで行われました。初戦の柳井高校を危なげなく5-0で撃破し、全国大会を賭けて決勝の相手は全国大会常連の山口県大津高校。初回からピンチの連続でしたが、この日のラッキーボーイ築澤孝郎君の活躍で先制。その後も得点を重ね、5-1で39年ぶり2度目の全国大会出場を勝ちとりました。全国大会では3連覇をかける強豪作新学院と対戦。

相手の動きが固い中、本校は主将五月女洋介君を中心にのびのびと持ち味を発揮。8回に失点し敗れたものの、今シーズンのベストゲームでした。



テニス部



### 美ら島沖縄総体2010

創部24年目、団体として初の全国大会出場。強烈な沖縄の日差しの下、第100回を迎えた全国高等学校テニス選手権記念大会の熱戦が繰り広げられました。2年連続個人戦で総体に出場した部長田鍋光平君を中心に一年間かけて部内の雰囲気や練習メニューを大きく改革し掴んだ団体戦県代表。初戦突破を目標に挑んだ福井県代表・北陸高校との試合は、ダブルス、シングルス1、シングルス2の順で行われ、最終戦までもつれ込む健闘をみせましたが1-2で敗退。試合後のコート上、メンバー全員で組んだ最後の円陣。悔しさの中にも、全国の舞台で戦った充実感、そして共に汗を流した部員や周囲の支えに対する感謝をしっかりと感じていました。



陸上部



### 第37回 全日本中学校陸上競技選手権大会

8月末に行われた、「全日本中学校陸上競技選手権大会」。本校中学陸上競技部から3年生の池内雅貴君と角山巧君が男子100mで出場を果たしました。昨年、リレーで出場し、「来年こそは個人種目でも出たい」という想いがさらに強くなったようでした。角山君は準決勝へ進出。池内君は予選敗退となりましたが、確実に実力をつけているように思います。

## 広島県豪雨被災地支援チャリティーコンサート



日時 28年7月27日(火) さくらびあ 於

「庄原市の豪雨災害で被害を受けた人たちのために何かやりたい!」「広島市の学生たちの手でコンサートができないか?」昨年、共演させていただいた世界的指揮者の大植英次氏からお話をいただき、本校が中心となって学生による合同オーケストラを急遽結成し、さくらびあでコンサートを開催することとなりました。本番までわずか1週間。目の回るような毎日でした。

わずか半日で100人分の楽譜の準備をしたり、練習がスムーズに進むよう、さまざまな段取りを考えたり…。そして1日約4時間で、わずか3日の練習。そのすべてを大植氏が指導されましたが、指揮台に立った大植氏のひと振りから生まれる音楽。大植氏は「わずか1週間でこれだけのコンサートができたのは広島市の音楽史に残る出来事であり、未来につながっていく出来事です。この音楽体験は生徒の心を大きく揺さぶったのではないのでしょうか。」

# 広島なぎさ中学校・高等学校同窓会45周年記念総会・講演会・懇親会

広島なぎさ中学校・高等学校同窓会45周年に向けて同窓会役員は平成21年5月より9回、毎月打ち合わせを行ない、盛大な同窓会を開催することができました。

と き 平成23年1月23日(土)  
 総会 11:00~11:45  
 講演会 12:00~12:30  
 懇親会 13:00~  
 ところ ANAクラウンプラザホテル



## 懇親会次第

1. ウェルカムコンサート
2. 開会のことば
3. 会長挨拶 道田 聡新会長
4. 森中前会長表彰
5. 来賓挨拶 理事長 鶴 衛様  
校長 白岩博明様
6. 乾杯 道田憲治同窓会顧問
7. 懇談
8. 校歌斉唱
9. 万歳三唱 山口豊資先生
10. 閉会のことば 岡村誠治副会長



ウェルカムコンサート なぎさ中高の吹奏楽演奏

## 総会次第

1. 開会のことば
2. 黙祷
3. 会長挨拶
4. 来賓挨拶
5. 議長選出
6. 議事
7. 閉会のことば

記念総会では経過報告、事業計画等を報告し、同窓会会則改定を行ないました。又役員の変更も行ない、新会長には道田聡氏が選出されました。



会長あいさつ

懇親会入場の際にはなぎさ中高の吹奏楽部によるコンサートを開催しました。大胆な中にしなやかな感性を感じる事が出来ました。そして何より嬉しかったのは懐かしの恩師の先生とのひとときでした。あの頃の印象を少し残しながらも、いいお年を取られておられました。思い出話に花が咲き何十年か若返った気がしました。久しぶりに会う同級生も姿をかえての再会、「ずいぶん頭が白くなったな。」口には出せず、笑いをこらえての会話にも話が弾みました。今回は役員の変更もあり、道田新会長の元、積極的に活動してまいります。



開会のことば 道田 聡 新会長

森中 祥二 前会長表彰

乾杯 道田 憲治氏

## 講演会

テーマ 「なぎさスピリットとは・・・」  
 講師 白岩 博明 校長

現在の広島なぎさ中学校・高等学校の新しい時代への取り組み等お話いただきました。近年の広島なぎさ中学校・高等学校は学業にスポーツに幅広く活躍し、校長先生がお話いただいた新しい取り組みの成果と実感いたしました。



懐かしのアルバムのシーン



突然のインタビュー



級友と一緒に



懐かしの先生を囲んで



万歳三唱 山口 豊資先生

平成23年度  
広島なぎさ中学・高等学校  
同窓会組織図

[役員組織]

- 会長 道田 聡 (9期卒)  
副会長 岡村 誠治 (7期卒)  
三谷 光司 (13期卒)  
山影 久尚 (13期卒)  
監事 三好 則行 (2期卒)  
猿田 義臣 (2期卒)  
会計 宮川 人士 (1期卒)  
顧問 道田 憲治 (1期卒)  
堀岡 眞行 (2期卒)  
森中 祥二 (4期卒)  
角島 誠 (現中高校長)  
幹事 新保 栄一 (1期卒)  
檜山 賢司 (1期卒)  
細田 秀夫 (5期卒)  
山本 純司 (6期卒)  
島津 信行 (8期卒)  
西岡 龍一 (11期卒)  
宇野 政篤 (11期卒)  
高木 正俊 (12期卒)  
野津田義幸 (13期卒)  
横田 浩樹 (16期卒)  
真鍋健一郎 (16期卒)  
石川 慎一 (20期卒)  
中上 康次 (21期卒)  
尾立 道泰 (22期卒)  
片山 洋臣 (23期卒)  
美濃 薫 (中2期卒)  
事務局 神田 克嗣 (現中高校副校長)  
坂田 浩之 (現中高校副校長)

[会務分掌] ◎各委員会の長

総務委員会

- ◎岡村 誠治  
荒谷 洋治  
尾立 道泰  
片山 洋臣  
神田 克嗣  
細田 秀夫  
山本 純司

広報委員会

- ◎三谷 光司  
石川 慎一  
宇野 政篤  
片山 洋臣  
中上 康次  
真鍋健一郎  
山本 純司  
横田 浩樹

常任理事会

- ◎道田 聡  
新保 栄一  
檜山 賢司  
道田 憲治  
宮川 人士  
堀岡 眞行  
三好 則行  
猿田 義臣  
美濃 薫  
森中 祥二  
岡村 誠治  
三谷 光司  
山影 久尚

50周年実行委員会

- ◎山影 久尚  
西岡 龍一  
高木 正俊  
野津田義幸

会長 道田 聡

シリーズ・同窓生は  
今!!

土曜日の午後、昼食を終えて妻と2歳になる孫の3人で、動物園のジグソーパズルをしながらくつろいでいた時に携帯の呼び出しが鳴った。会社からの連絡かと思ったら、いきなり「おめでとうございます。当たりました。」との弾んだ声である。相手は、元広島なぎさ中学校・高等学校事務局長の山本さんである。私はあまりくじ運の良い方ではないが、「当たり」の言



葉には、何となくうれしい響きがある。当『同窓会会報の新企画』として、近況報告のような原稿依頼の抽選に当たったとのことである。今年1月の総会から既に半年が経過しており、還暦を過ぎると少し億劫に為るけれども、孫の成長を楽しみにする様に、新企画が発展することを期待します。

第一回卒業 宮川 人士

皆さんこんにちは、広島工業大学附属広島高等学校(現広島なぎさ中学校・高等学校)第二回卒業、第二代同窓会会長を務めさせて戴いた堀岡と申します。学校を卒業して四十数年たち通常であれば定年退職組ですが第二十五回卒業の長男【有会社フォー・ア



ンツ代表取締役(アクタス広島店他)と一緒に事業をやっている関係でまだまだ現役で頑張っています、今年は年末に新店舗オープン予定で当分現役を退けそうにありません。今後ともよろしくお願致します。

第二回卒業 堀岡 眞行

クラス会報告

広島高等学校第7期

(昭和47年3月卒業)



今年6月25日土曜日に紙屋町の県民文化センターで第7期卒のメンバーと先生含めて総勢19名が集合してクラス会を行いました。

一昨年我々が卒業して初めて37年ぶりに大塚先生のクラス会をやりましたが本当に久しぶりでまた鍛冶先生・沖井先生・土井先生にも参加してもらい大変盛り上がりしました。今年は他のクラスからも参加希望があり合同クラス会となりました。

大塚先生・鍛冶先生・土井先生そして米子から福見先生にも参加していただき、また同窓会の道田会長にも参加してもらい盛況に終わ

ることができました。我々はあと2年で還暦を迎える年となり写真を見ても、誰が先生で誰が生徒か見た目ではわからない様子で、先生方の元気が大変印象に残る会となりました。  
クラス会幹事 岡村誠治

TOPICS

同窓会の方の新しい活動などをお知らせしています。同窓生への呼びかけにご利用ください。

第三回創まりの会ゴルフコンペ開催

初年度卒業した同窓生の声かけでゴルフコンペを開催しました。「肩のこらない、柔らかな会も良いものです」を合い言葉に急遽開催決定。せめて3組で開催したいと思っておりましたが1組のコンペでした。



秋には引き続きゴルフコンペと毎月飲み会を開催する予定です。詳しくは下記まで

創まりの会 代表幹事  
第一期生 檜山賢司  
(082-421-5200)

ホームページのご案内

同窓会通信への情報をお待ちしています。下記メールアドレスへ。同窓会広報委員会宛 dousoukai@nagisa.ed.jp クラス会や同窓生での活動などの情報をお寄せください。次号同窓会通信に掲載させていただきます。



なぎさ中学校・高等学校 検索

同窓会 ←ここをクリック

# 沢山の生徒が自分の目標にチャレンジ 夢に一步近づきました。

「大学進学は中学校・高等学校6年間の学びのゴールにあらず。大学進学はあくまでも通過点。ゴールはさらにその先にあり。」という方針で進路指導を行っています。人生目標の達成には大学選択は重要です。そのためには“学びたい”大学を選択することが基本です。ほとんどの生徒は、6年間で培ったさまざまな学びと経験に基づいて大学を選択します。今年度も培ったものを目標や夢として携え、ハードルの高さに果敢に挑戦し、それをクリアした生徒が多く見られました。こうした経験が、また、人としての魅力を大きくしていくはずだと確信しています。

## 2011大学入試 合格状況 (2011.3月28日現在)

卒業生191名(男子127名、女子64名)

### 私立大学

大学	合格数	内 訳	
		男子	女子
青山学院大	5	4	1
学習院女子大	1		1
杏林大	2	2	
国立音楽大	1		1
共立女子大	1		1
慶應義塾大	4	3	1
国際基督教大	2	1	1
駒澤大	3	1	2
駒澤女子大	1		1
芝浦工業大	4	4	
上智大	1	1	
白百合女子大	1		1
成城大	5	5	
清泉女子大	1		1
専修大	5	3	2
多摩大	1	1	
中央大	5	3	2
津田塾大	2	2	
帝京大	1	1	
東海大	2	2	
東京家政大	2	2	
東京工大	6	6	
東京女子大	1		1
東京都市大	2	2	
東京農業大	1		1

大学	合格数	内 訳	
		男子	女子
東京理科大	13	12	1
東洋大	4	4	
日本大	12	8	4
日本女子大	1		1
法政大	3	3	
日本獣医生命科学大	1		1
明治大	15	9	6
明治学院大	7	1	6
立教大	3	1	2
早稲田大	9	3	6
麻布大	1		1
神奈川大	3	2	1
神奈川工科大	2	2	
北里大	3		3
金沢工業大	3	3	
朝日大	1		1
愛知工科大	1	1	
愛知工業大	1	1	
京都産業大	5	5	
京都造形芸術大	1		1
同志社大	20	16	4
立命館大	41	39	2
龍谷大	6	5	1
藍野大	2	2	
追手門学院大	1	1	

大学	合格数	内 訳	
		男子	女子
大阪経済大	1	1	
大阪保健医療大	1		1
関西外国語大	1		1
関西大	14	7	7
関西学院大	22	7	15
近畿大	7	6	1
甲南大	2	2	
兵庫大	1		1
武庫川女子大	1		1
岡山理科大	2	2	
川崎医療福祉大	2		2
倉敷芸術科学大	1		1
日赤広島看護大	4	2	2
比治山大	2	2	
広島経済大	1	1	
広島工業大	11	5	6
広島国際大	6	2	4
広島修道大	24	11	13
広島女学院大	1		1
広島都市学園大	1		1
広島文化学園大	2		2
安田女子大	2	2	
福岡大	4	4	
立命館アジア太平洋大	2	2	

### 国立大学

大学	合格数	内 訳	
		男子	女子
筑波大	1	1	
千葉大	1	1	
東京大	1		1
東京医科歯科大	1		1
東京外国語大	2	1	1
東京工業大	1	1	
信州大	3	3	
京都工芸繊維大	1	1	
大阪大	2	2	
神戸大	3	2	1
広島大	14	8	6
山口大	6	5	1
徳島大	1	1	
香川大	1		1
愛媛大	1		1
九州大	4	4	
九州工業大	3	2	1
熊本大	1	1	
宮崎大	1		1

### 公立大学

大学	合格数	内 訳	
		男子	女子
首都大学東京	2	2	
都留文化大	1	1	
岐阜薬科大	1		1
名古屋市立大	1	1	
京都府立大	1		1
大阪市立大	1	1	
大阪府立大	2	2	
新見公立大	1		1
県立広島大	2	1	1
広島市立大	2	1	1
北九州市立大	1		1
九州歯科大	1	1	

合計	合格数	内 訳	
		男子	女子
私立大学	334	206	128
国公立大学	64	43	21

(過年度生を含む)

同窓会からのお知らせ(クラス会や学年会の開催案内のお役立てください。)

## ◆ 同窓会 会員への案内状の住所印字サービスを行っています。

### 案内をする側も、受け取る側も安心!

個人情報保護法の施行以来、同窓生の個人情報につきましては学校の事務長が保管・管理し、外部への持ち出しを禁止しております。  
しかしながら、同窓会会員からは、クラス会や学年会を開催したいと名簿の要請があります。  
そこで同窓会では、同窓会専用封筒に宛名を直に印刷

するサービスを行うこととしました。  
利用者が、用意した封入物は学校内で封入し、利用者に封筒を渡すことなく学校から直接郵送します。  
個人情報の流出防止に細心の注意を払っています。  
安心してご利用ください。



詳しくは学校の事務長までお問合せください。

☎ (082) 921-2137

## 広島なぎさ中学校・高等学校同窓会事務局

〒732-5138 広島市佐伯区海老山南2丁目2-1 TEL (082) 921-2137 FAX (082) 924-3020